

12	<h1>CTF通信</h1>	集う・遊ぶ 学ぶ・働く
2004年3月		発行: CTF松阪

NPO法人CTF松阪設立！！ 法人設立の登記完了

2月19日、津地方法務局松阪支局で、NPO法人CTF松阪の設立登記が完了しました。

平成15年3月2日に、任意団体のCTF松阪を設立し、ITを活用した障害者の方々への支援活動を展開しながら、「NPO法人化を目指す」という目標に向かって諸作業を進めてきた結果が、こうして花開き実を結びました。

ここに至るまでには、多くの会員の皆様のご支援・ご協力を忘れることはできません。中でも、県に対するNPO法人設立認証申請手続きをしてくださりました行政書士の伊藤義徳様、認証後のNPO法人設立登記手続きをしてくださりました司法書士

の鈴木久志様には、この紙面をお借りしてあらためて御礼を申し上げます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

さて、生まれたばかりのこのNPO法人CTF松阪を、立派に育て上げて行かなければなりません。ここでもまた皆様の更なるご支援・ご協力をお願いしなければなりません。

4月には、任意団体CTF松阪の解散総会とNPO法人CTF松阪の通常総会を同時開催する予定でありますので、皆様のご出席をお願いいたします。なお、日程・会場等につきましては、後日ご連絡申し上げます。

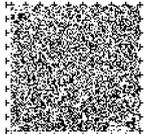


NPO法人CTF松阪
設立の証である登記簿

祝 誕 生



Congratulations



DNS(Domain Name System)って何だろね？ (2)

WEB ページを見たい人が IP アドレスを知っている場合、DNS の一連のやり取りを省略できますから若干 WEB ページの表示を早くすることができます。例えば、Yahoo! の IP アドレスは「210.81.153.70」ですから、この数字を直接 IE 等のアドレス入力欄に入れると IP アドレスが分かっているので DNS サーバーに問い合わせが行われず、ほんの少しですが表示が速く行われます。(と言ってもそんなに体感できる程でもありませんが・・・)

クライアントパソコンから問い合わせを受けた DNS サーバーが IP アドレスを知らない場合はどうなるのでしょうか？

クライアントパソコンが問い合わせを行う DNS サーバーは、プロバイダが用意したものですが、このプロバイダが用意した DNS サーバーが問い合わせのあった URL に対応する IP アドレスを知らない場合があります。その場合、DNS サーバーは更に上位のサーバーに問い合わせを行います。

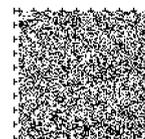
この「上位の DNS サーバー」は世界中の DNS サーバー全体をとりまとめている総元締めのような役割を担っています。このサーバーは一般に、「ルートネ

ームサーバー」と呼ばれます。そして、このサーバーは InterNIC(Internet Network Information Center)という所で管理されています。

ルートネームサーバーは要求のあった文字列を解析します。この例の場合、問い合わせ文字列は「www.yahoo.co.jp」ですから、文字列一番最後の「jp」(Japan)を解析して、ルートネームサーバーは、「このWEB ページを持っているサーバーは日本にある」事を理解します。そうすると、このルートネームサーバーは「日本の総元締め聞いてみて」と日本の総元締めの IP アドレスを返します。

日本にも日本中の DNS サーバー全体をとりまとめている総元締めのような DNS サーバーが存在して、この DNS サーバーは「jp」が付く全ての DNS サーバーのトップに位置しており、一般に「JP ドメインの DNS サーバー」と呼ばれます。「jp」ドメインの DNS サーバーは JPNIC(Japan Network Information Center)というところで管理されています。

=== 文責：岩崎 ===
(次号につづく)



第12回役員会開催

2月14日(土)松阪市障害者福祉センター(松阪市殿町)において、第12回役員会議を開催しました。

会員11名(うち役員7名)が出席し、難病在宅ケア関係機関連絡会議への参加、音訳テープのCD化支援についての検討、ならびに諸情報の交換をしました。



2月に実施した事業

第12回役員会議

(14日)

CTF松阪NPO法人化関連

設立登記完了 (19日)

設立登記完了届他諸届 (24日)

障害者対象個人向けパソコン講座

(3日、10日、17日、24日)

会員研修 = 音訳テープのCD化手法

(10日、19日)

諸会議出席

市民活動センター開設運営検討会 (6日)

ボランティア連合会リーダー研修 (24日)

松阪市ボランティアセンター代表者会議 (13日)

継続実施中

障害者IT相談窓口設置

3月の予定

第13回役員会議

(NPO法人CTF松阪第1回理事会)

13日 13:30~16:30

松阪市障害者福祉センターにて

障害者対象個人向けパソコン講座

2日、9日、16日、23日

各9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて

音訳グループまつさか様講習会支援

12日、26日 各13:30~16:30

18日、25日 各9:30~11:30

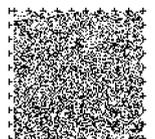
松阪市障害者福祉センターにて

なごみ~ていんぐ

(難病在宅ケア関係機関連絡会議)

11日 14:30~17:00

三重県松阪庁舎3階第33会議室にて





今月は、いつも明るく、また、積極的に自己啓発によりITにチャレンジされている、ワーク会員としてご活躍の鈴木義昌様からご寄稿いただきました。



牛のように

鈴木 義昌

松阪の地に育ち、はや40年、私は、常日頃から、牛のように生きたいものだと思っている。私の干支は、猪であるのだが、猪突猛進の猪ではなく、猛進は猛進でも、「モー進」といきたいわけである。

本物の牛であれば、もう、とうの昔に肉になり、人の腹の中であろう。

さしづめ、今、話題の吉野家の牛丼といったところであろうか。

幸いかな私は、人間であるので、もう40年も生き長らえているわけなのであるが、それはともかく、どうして牛がいいのかというと、一步一步、ゆっくりではあるが確実に重く重く前に進み、そして、ここぞと言う所でモーダッシュ、そんな所が、好きなのである。

また、自分の身に成るように、何回も何回も噛み砕き、そして消化し、栄養とする、そんな所も、見習いたいのである。ま、これは、怠け者で才能の無い者の、言い訳なのかもしれない。

松阪牛も、最初から松阪牛ではない。他の地からきた子牛が、松阪牛になる為の環境に身を置き、そして、何年も飼育され、やっとのことで、松阪牛になることが出来るのである。

しかし、人は、黙っていても、牛のように飼育してくれるわけではない。

人には、牛のような飼育人は、いないのである。しいて言えば、飼育人は、自分自身では、ないのではないのだろうかと思っている。

人は、自らの環境を、自らが変え、自らが整えていくしか、道は、広がっていかないのではないだろうか。

自分の目標とする環境に身を置き、それを自らが望み、自らがその方向に歩く事が、大切だと思っている。

しかし、かりに極まれに、松阪牛のような良い素材に、なれたとしても、それだけでは、美味しい肉には、なれないのだと思う。

料理に、塩加減があるように、少しの塩は、甘味を引き出し、過ぎたる塩は、辛味や苦味になりはてしまうだろう。

人にも牛にも、美味しい物になるためには、微妙な塩加減が、いるのではないだろうか。

この塩加減に当たる物が、人では、人との出会いに、なるのではないのだろうかと思っている。

この塩加減、より良い人との出会いも、そう言う環境に、わが身を置いておこうと思うからこそ、生まれてくるのでは、ないのだろうかと思うのである。

私が、牛丼になるのか、ホルモン焼きになるのか、はたまた、すじ肉のどて煮になるのか、それは、いまだ定かではないが、ま、どれになれるのかは、解らないが、どれも美味しいから、良しとする事にしよう。

次号は、佐々木大輔様をお願いします、皆様どうぞお楽しみに...

CTF通信 第12号

2004年(平成16年)3月発行

発行者 ITを活用した障害者支援組織

(Challenged To the Future)

CTF 松阪

発行責任者 川口 保美

住所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電話 0598-21-7268

URL <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>



庭にメジロが遊びにきます。いつも、つがいで仲良く現われて、餌台に置いたり
ソゴやミカンをついばんでいます。

